

業務改善の実施状況報告

組織名	藤里森林センター	連絡先	0185-79-1003
所管する業務の概要	1 白神山地世界遺産地域及び周辺地域の森林の巡視、保全・管理活動等。 2 森林レクリエーション、指導・普及事業の実施。「森林レクリエーション事業の企画、調整、実施等」 3 国民参加の森林づくり等の推進。「特にボランティア団体等が行う自主的な森林整備活動の支援等」		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・森林教室、自然観察会、森林ふれあい推進事業、森林環境教育、教職員の研修の受入れ等、一般国民と直接接する機会が多いことから、国民にわかりやすい説明に心がけている。 	<p>職員の説明能力は徐々に向上してきている。今後はイベント参加者からのアンケート結果を分析し説明方法の改善を図るなど、更なる説明能力の向上に努めたい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・白神山地世界遺産地域及び周辺地域における巡視、保全活動等で、一般国民に好感度をもたれるような入山マナーの啓発に努めている。 	<p>普段から入山マナーの啓発・周知に努めており、現地においては丁寧かつ笑顔を交えた対応により、入山者のマナーも徐々に良くなってきていることから、今後も継続していきたい。</p>

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>・森林ふれあい推進事業において、毎回募集人員に対して応募者が多く参加出来ない国民が多いことから、業務計画作成時に開催回数を多くする等対応策を考えている。</p>	<p>今年度から新規事業（白神森林講座等）を導入したことにより、従来の森林ふれあい推進事業の開催回数は減少したが、新規事業と組み合わせた幅広い参加メニューを国民に提供することで選択肢を増やし、事業内容の充実と参加者数の平準化を図っている。</p>
<p>・森林環境教育等の実施要請回数が更に増加するよう、森林管理局・当所のホームページを活用しPRを行っている。</p>	<p>ホームページをリニューアルし、新規情報を随時、掲載することにより、「今までより見やすくなった」「最新の情報が多くなった」等の意見が寄せられている。 また、実際に森林教室等の要請があった小学校等に対しては、丁寧な対応と分かりやすい説明に心がけており、「次回も是非お願いしたい」等の評価をいただいている。</p>
<p>・白神山地世界遺産地域の緩衝地域にある登山道の整備において、種々の制約があり、その整備方法に苦慮している。</p>	<p>地元の意見・要望を第一に、関係者の合意形成を図りつつ、ボランティア団体とも連携し、可能な箇所から整備するよう努める。</p>
<p>・白神山地世界遺産地域の核心地域（秋田県側）は、原則として入山を禁止しているが、依然として魚釣り等の密猟者の入山の痕跡が確認されており、その対応に苦慮している。</p>	<p>関係機関及び民間のボランティア巡視員等と連携した合同パトロールを実施する。また、職員による巡視活動を一層強化することにより、被害防止につなげている。</p>
<p>・当所では直接、食の安全に係る業務は行っていないが、食の安全に関する新聞報道等について、関係する記事を切り抜き、職員回覧を行っている。</p>	<p>直接「食の安全」に係る業務を行っていないため、職員の関心・意識は低い傾向にあるが、定期的な業務打合せ等の際に「食の安全」に関するニュース、新聞報道等にも留意するよう指導を行うなど、職員の意識向上に努めている。</p>

3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
<p>・業務に関する打合会議を毎週定例的に行い、その週の実施事項及びその対応策等について、職員全員で論議し、実施内容を職員全員で共有し、業務の円滑な運営が行えるようにしている。</p>	<p>打合せについては、長時間に及ぶことのないよう、項目を絞り、内容にメリハリをつけるようにしており、職員が業務目標や当面の実施事項について情報を共有し、明確な目的認識を持って取り組めるよう配慮している。</p>

4. その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
・特になし。	